

## 開業者は経営者との交流を通じて知識・能力不足に対応

### 「2015 年度新規開業実態調査」～アンケート結果の概要～

日本政策金融公庫(略称:日本公庫)総合研究所は、新規開業企業の実態を把握するために、1991 年度から毎年「新規開業実態調査」を実施しています。2015 年度調査の結果について、時系列のデータを用いて開業者の属性や開業費用などの変化をみるとともに、開業者の特徴について分析しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

#### <主な調査結果>

##### 開業者には以下のような特徴がある。

##### 1 実務経験を有する分野で開業(本文4ページ)

開業時の平均年齢は 42.4 歳であり、85.0%は現在の事業に関連する仕事をした経験を有し、71.4%は管理職として働いた経験がある。多くの開業者が実務経験を有する分野で開業している。

##### 2 ほとんどの開業者が知識・能力の不足を感じたまま開業(本文 12 ページ)

起業家を志したときに、不足していると感じていた知識・能力はないという割合は 4.3%、開業時点でも 4.9%にとどまり、ほとんどの開業者が何らかの知識・能力に不足を感じながらも開業に踏み切っている。なかでも「経理・税務・法律などの知識」(76.3%)や「顧客を開拓する営業力」(48.5%)の不足を挙げる開業者が多いが、「事業を営むための体力」を除き、時間とともにその割合は低下している。

##### 3 先輩経営者や同じステージの起業家との交流を通じて不足している知識・能力を向上・補完(本文 13 ページ)

多くの開業者が、不足している知識・能力を向上・補完するために何らかの取り組みを行っている。開業前後を通じて、「先輩経営者との交流」(開業前 51.1%、開業後 57.5%)に取り組む割合が最も高く、開業後には「同じステージの起業家との交流」(開業前 31.1%→開業後 41.7%)に取り組む割合が最も増加している。

<調査の要領> ・調査時点:2015 年8月 ・調査対象:融資時点で開業後 1 年以内の企業 7,917 社  
・調査方法:調査票の送付・回収ともに郵送、アンケートは無記名 ・回答数:1,869 社(回収率 23.6%)

\*本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

#### <お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:楠本、井上)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー